

# SHONAN Lista K-NAN

# Contents

理念 「生命を安心して預けられる病院」 「健康と生活を守る病院」

Alline

2-3P	医療の話
前立腺肥力	大症
~ 早新ガ	1

~最新グリーンレーザー治療~
 4-5P 医療の話

臓器提供について考えてみませんか?

 6 P
 院内活動

 日本医療機能評価機構より4回目の
 認定を受けました

7 P 院内活動

いけばなで患者さんに癒しの空間を

大船観音 撮影:ME室 種山 かよ子

医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院

前立腺肥大症~55歳以上の男性5人に1人が悩む病気~ enlargement of the prostate

泌尿器科 部長 三浦 一郎

最新グリーンレーザー治療

Photoselective Vaporization of the Prostate

当院ではこの度、前立腺肥大症の治療に対して最新のグリーンレーザー機器を 導入しました。

患者さんの身体への負担が少なく、他の手術と同じく保険診療で手術が可能です。

前立腺肥大症に悩む人の数は、年齢が高くなるにつれて増えていきます。

統計によれば、日本の55歳以上の男性の約2割、5人に1人に前立腺肥大の症 状があることがわかっています。

## 前立腺肥大症とは?

前立腺肥大症とは、前立腺が大きくなり、様々な排尿障害を引き起こす病気です。 前立腺が大きくなると尿道が圧迫されて尿の流れが妨げられるため勢いが悪くなったり、回数が増えたり、尿意を感じ 夜間に目が覚めたりします。

## このような症状がある方は注意!

□頻繁に尿意を催す(特に夜間) □急な尿意 □尿の出が悪い □残尿感 □尿を出したり、止めたりするのが難しい □力を入れないと排尿できない □排尿時に痛みがある



## おおよその重症度が判定できます

国際前立腺症状スコア (International Prostate Symptom Score: IPSS)は、 患者さんおよび担当医が、前立腺肥 大症の重症度の判断に役立つ指標 です。

各項目で、該当するスコアを一番 右の欄に記入し、その数字の合計に よっておおよその重症度がわかります。

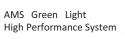
どれくらいの割合で次のような症状がありましたか	全くない	5回に1回 の割合より 少ない	2回に1回 の割合より 少ない	2回に1回 の割合くら い	2回に1回 の割合より 多い	ほとんど いつも	עבג
この1か月間に,尿をしたあとにまだ尿が残っている 感じがありましたか	0	1	2	3	4	5	
この1か月間に,尿をしてから2時間以内にもう一度しなくてはならないことがありましたか	0	1	2	3	4	5	
この1か月間に,尿をしている間に尿が何度もとぎ れることがありましたか	0	1	2	3	4	5	
この1か月間に,尿を我慢するのが難しいことがあり ましたか	0	1	2	3	4	5	
この1か月間に,尿の勢いが弱いことがありましたか	0	1	2	3	4	5	
この1か月間に,尿をし始めるためにお腹に力を入 れることがありましたか	0	1	2	3	4	5	
	0回	10	2回	30	40	5回 以上	עבג
この1か月間に,夜寝てから朝起きるまでに,ふつう 何回尿をするために起きましたか	0	1	2	3	4	5	

# Medical Talk

## グリーンレーザー治療

グリーンレーザー治療『光選択式前立腺レーザー蒸散術: PVP (Photoselective Vaporization of the Prostate)』は 内視鏡 (膀胱鏡)を用いて尿道から小さな光ファイバーを通して行う手術です。

この光ファイバーから高出力レーザーを照射し、前立腺組織を蒸散させることで尿路のつまりを取り除くという治療法です。



#### 利点は?

この治療法では、従来の一般的な手術療法である電気メスを用いた経尿道的前立腺切除手術と同じ効果が得られ、患者さんの 多くが術後すぐに自然排尿できるようになります。また、電気メスを用いた手術に比べると、出血や合併症が起こる可能性が少なく、入 院期間も短くなります。当院では平均5日の入院で治療が可能です。

今まで手術を受けることができなかった高齢の方や抗凝固剤、抗血小板剤などの血液を固まりにくくするお薬を服用中の方でも手術 が受けられます。また、出血量が少ないため、輸血を行う必要はほとんどありません。

前立腺がんが疑われる方には、手術の前にPSAと呼ばれる腫瘍マーカーの値を調べ、別に組織を採取したり、治療の後も定期的に PSAの値を確認するなど、経過を観察して対応しています。

## さいごに、当院 泌尿器科 三浦 一郎部長より



 左 泌尿器科 三浦 一郎部長

 右 同科
 村田 憲彦医長

60歳以上の多くの男性にとって、前立腺肥大症は 避けては通れない病気といっても過言ではありません。

しかし実際には、密かに症状を我慢されている方が多いのではないでしょうか。 最近では内服薬による治療が普及していますが一生涯内服を続けることが 不安な方にとっても、手術は有効な治療法です。

今回導入したグリーンレーザー治療は今までの手術の欠点を払拭しているため、 今まで手術を躊躇されていた患者さんにもお勧めできる治療です。

## 院外で医学講座を行っています

2月4日(土)は本郷台にある地球市民かながわプラザにて、 『前立腺肥大症の話〜最新レーザー治療について〜』と題して公開 医学講座を行いました。当院の泌尿器科三浦部長が講師を務め、 50名近くの方に聴講して頂きました。

今後も三浦部長の講演は月に一度のペースで開催予定ですので 前立腺肥大症でお困りの方・ご興味のある方は是非ご参加ください。 お待ちしております。

今後の開催予定は、当院ホームページよりご確認頂けます。



参加者からの質問に答える三浦部長

## 泌尿器科 診察予定

診察日 月曜日~土曜日(祝祭日除く) 受付時間 7:30~12:00(月・金・土は11:00まで) ご予約を希望される方はお電話にてお問い合わせください。 予定は変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 かかりつけの泌尿器科医がいる場合はご相談の上、紹介状をご持参ください。

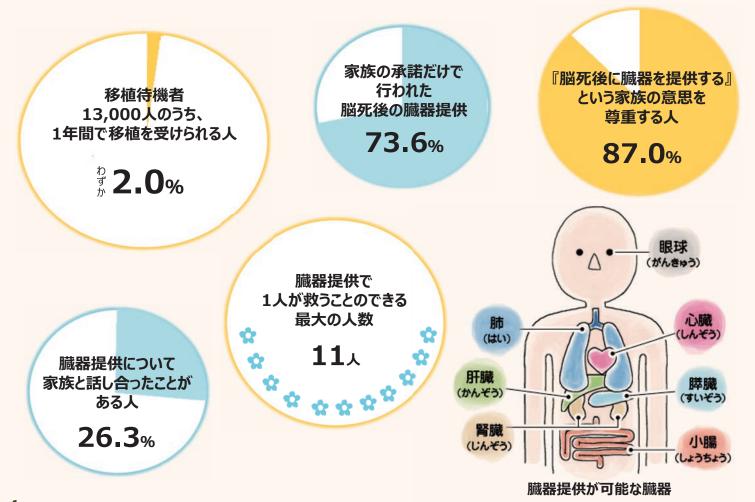


## 医療の話

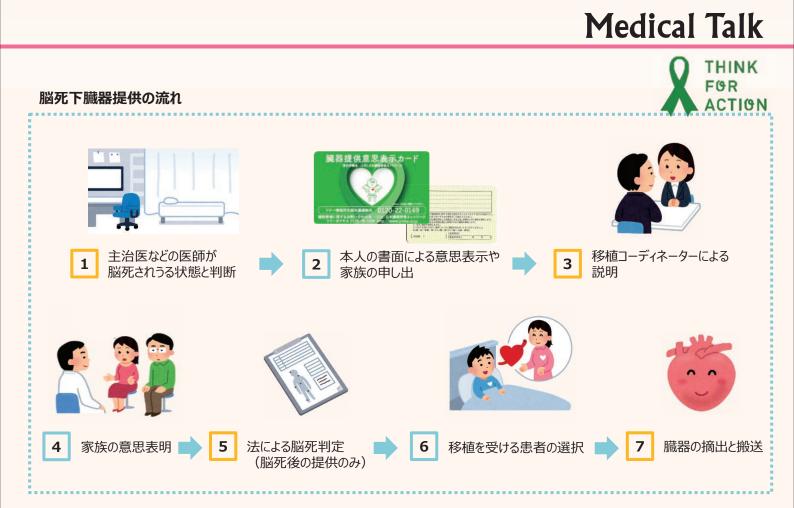
## Think Transplant



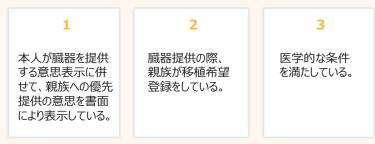
人のからだは、日常の生活の中で機能が低下したり、事故や病気で機能を失うことがあります。機能の低下を補う身近 な物には眼鏡や入れ歯などがありますが、臓器が一旦その機能を失うと薬剤や機械で代替することはとても難しくなります。 臓器移植とは、他の方の健康な臓器を移植して機能を回復する方法であり、皆さん一人ひとりの善意による臓器の提 供がなければ成り立たない医療です。



4 データ出典元:内閣府『世論調査』及び(公社)日本臓器移植ネットワーク https://www.jotnw.or.jp/



## ご存知ですか?優先提供



以上の3要件をすべて満たす場合のみ、優先提供が可能になります。 臓器を提供する意思の場合、親族への優先提供の意思を併せて表 示することができます。

## 臓器移植について、 日頃から家族で話し合いましょう

自分や大切なご家族の意思を尊重す るためにも、日頃から臓器移植について 考え、家族と話し合い、「提供する」 「提供しない」どちらかの意思を 表示しておくことが大切です。





リーフレットは 総合案内に置いています

## 意思表示の仕方は5つ

①免許証
 ②健康保険証
 ③意思表示カード
 ④マイナンバーカード
 ⑤インターネットによる意思表示

## 当院ではシミュレーションを行っています

3月4日(土)に第5回『脳死下における臓器提供シミュ レーション』を行いました。提供発生から臓器摘出・搬送までの 流れを理解し、臓器移植に関する法律等に基づく院内対応 (連絡体制・役割等)や、外部との連絡及び必要書類など について確認を行いました。

また、医師と院内コーディネーター、日本臓器移植ネットワーク コーディネーター等の関係者により、病室から手術室への患者 搬送、臓器摘出後の臓器搬送の導線の確認及び問題の改 善点を話し合いました。



主治医より家族へ病状説明を行い、 臓器提供への本人の意思を把握する



脳死判定医により 法的脳死判定が行われる



移植コーディネーターより家族へ意思 確認、臓器提供について説明



交通事故等の場合は 検視官により検視が行われる

## Activity inside the hospital



当院は昨年10月に病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)の更新審査を受審し、 審査区分『一般病院2』及び付加機能『救急医療機能』について、認定証の交付を受けました。

病院機能評価の評価項目は、医療環境や社会の変化に応じて数年ごとに改定されています。 今回の審査では4つの領域の約90項目の審査が行われました。 また、付加機能として今回初めて『救急医療機能』を受審し、認定を受けております。

## 病院機能評価とは

病院を始めとする医療機関の機能を中立的、科学的、専門的 な見地から評価し、良質な医療を提供していることを第三者の目 から「認証」する制度のことで、患者さんのニーズや社会環境変化 を考慮した「より高次な評価」といえます。

また、第三者評価として、医療サービスの質を構造(ストラク チャー)、過程(プロセス)、結果(アウトカム)の3点から評価 するものであるため、病院の改善ツールとして有効活用できます。

#### 病院機能評価の受審状況は

2017年3月3日現在、日本国内の全病院8,453施設 のうち2,193施設が認定されており、国内の約3割の病院 が病院機能評価の認定を取得しています。



患者さんを断らない理念の徹底と 患者さんへの安全、サービスの向上に 常に努力しますので、 お気づきの点等ありましたら ご意見・ご要望として 投函して頂ければと思います。





『一般病院2』



『救急医療機能』

## 院内活動

## Activity inside the hospital



皆さんは、当院の1階内科・外科のカウンターと総合案内 にいけばなが生けられているのをご存じでしょうか?

病院にお越しになる方の中には様々な不安を抱えている方 もいらっしゃいます。

そんな方の不安を少しでも和らげられる様にと、当院では地 域の方に定期的にいけばなを生けて頂いています。

今回はお花を生けている岡内ツヱ子さんにいけばなについ てインタビューをさせて頂きました。

岡内さんは元々当院の看護師として長年勤務をされており、その 中で華道部を立ち上げ、旧病院の時からこの活動をされていました。

今までに様々ないけばなの流派を経験して『小原流』を学び、既に 20年以上厳しいお稽古を続けられています。またその過程で同流派 の専門教授者の資格も取得されています。

いけばなは、花の取り合わせや色の取り合わせ、枝と花のバラン スなど、細かなルールは流派によって多少異なりますが、様々な勉 強やお稽古を重ねていかなければなりません。



ホワイトデーをイメージ





アリウム・カーネーション・ユーカリ



岡内さんは「どんな時でもお花は日本人の心であり、単にお花を生けるのではなく 心を生けるように、お花と向き合って対話をしてお花の気持ちを表現すること」を常に 考えてお花を生けているそうです。

また院内でお花を生ける時には、季節を感じてもらうだけではなく、患者さんの受診の妨げにならないよう限られたスペースの中でどのようにしてお花を表現するか、患者さんの中には花粉症やアレルギー体質の方もいらっしゃるので、花粉が飛ぶような種類のお花を避けるなど、通常の生ける環境とは違った病院内ならではの細かな配慮がなされています。

現在では一週間に一度のペースで季節にあったお花を生けており、毎回ご受診の際にそのお花を見るのを楽しみにしている患者さんもたくさんいらっしゃいます。これからもこの活動は続いていきますので既にご覧になった方も、そうでない方も是非一度このいけばなをご覧になってみてはいかがでしょうか。

小原流とは、 数ある流派の中で19世紀末に小原雲心が創始した流派です。

